

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年11月5日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから11月5日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿いまして、説明をいたします。

まず、11月9日の（3）と11月11日（6）、1Fの事故分析検討会です。

これは中間取りまとめの事業者の見解を聞くシリーズ、これは7月から続けてきまして、今回は、9日のほうが北海道と関西、11日が九州と四国ということになります。

この4事業者はPWRの事業者なのですが、PWRの場合は水素対策の施設が特重施設に該当しますので、今回は非公開ということになります。

次の、11月11日の（7）、廃止措置に関する審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目が美浜の1、2号炉です。

これは9月16日に初回会合したもので、そのコメントへの回答などです。

2つ目は島根の1号炉です。

これは10月1日に申請がありまして、今回が初めてということになります。

次が、11月11日の（8）、特定兼用キャスクの型式証明の審査会合です。

議題は、日立造船の申請についてということです。これは9月16日に申請があったもので、今回が初会合ということになるようです。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

では、ヨシノさん、お願いします。

○記者 テレビ朝日、ヨシノですが、事故原因の関係ですけれども、特重絡むからというのは分かるのですが、これまで報道側も、事故分析に関するものに関しては協力もしておりますし、報道も一生懸命やっております、特重が絡むから全部非公開にしますというのは、しかも2回続けてというのは、これは公開原則を大切にしてきた規制委

員会、規制庁としてもいかななものかと思うのですけれども、その辺の御認識はいかがでしょうか。

○黒川総務課長 もちろん、できるだけ公開でというのはしてきたところですが、特重ですと、やはり公開は難しいということでこれまでもしてきましたし、そういうことで公開は難しいかなと思います。

ただ、いろいろ会議でどんな議論があったかみたいな話は、聞きたいということであれば聞く機会は設けるみたいなのはしたいかなと思います。

○記者 事後ブリーフィングをちゃんとやっていただけるという意味でしょうか。

○黒川総務課長 はい。そういうことです。

○記者 もう一つしつこく言わせてもらえば、2時間ずっと特重の議論をやっているんじゃないんじゃないかと思うのですよ。例えば、前半においては特重を活用するものについての議論を行ったとしたら、それ以外では公開できるところがあるんじゃないかと思うのですが、そういうことも今後は御検討ください。

以上です。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—